



# 2019年 闘春 職場から闘いを!

【開発が進む長崎駅周辺、12月23日】



【講義では、厚労省構造基本調査の資料なども提示された】

講義では、労働者が社会の主人公と題し、労働者は賃金以上の儲けを作り出し資本家がタダで搾取している事実をマルクスの資本論などを踏まえ労働者と資本家の関係を解説。さらに日本の階級構成、歴史などをひもとく資本家の儲けの秘密、賃金はどのように決まるのか、労働力の価値を構成する内容、大量の失業者と不安定雇用労働者を必要とする資本主義社会など難しいテーマをわかりやすく解説した。

また、労働組合組織率・ストライキ件数・賃上げ実績の表を示し、総評の時代と比べ連合が結成されストライキ件数が激減し賃上げ率も低くなったと闘わない労働組織を批判。

長崎地区労（長崎地区労働組合会議）主催の第8期労働講座第2回が12月13日、同会館2階大会議室で開催された。講師を元国労長崎地区本部委員長の敷根春美さんが務め、昨年引き続き『賃金とは何か』について約80分の講義を行った。

## 元国労長崎地区本部委員長 敷根さんが講義 『賃金とは何か』

### 長崎地区労 労働講座

これからの賃金闘争について、賃金についての職場での話し合い・習会などを積み重ね賃金がどうして決まるのかを一人ひとりが認識することが大切と訴えた。



【講師を務める敷根さん】

### 2018年を締める 慰霊碑清掃



【20日、開、田中、川原、豊田、御所、島田、上之濱】

長崎地区労加盟の組合員約40人が聴講した。（豊田、俵坂、米満）